

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11) 実用新案登録番号

第2526775号

(45) 発行日 平成9年(1997)2月19日

(24) 登録日 平成8年(1996)11月18日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 2 B 3/22			A 4 2 B 3/22	
	3/04		3/04	
G 0 2 B 27/02			G 0 2 B 27/02	A

請求項の数3 (全 4 頁)

(21) 出願番号	実願平3-114411	(73) 実用新案権者	592037538 中部テクノエクスプレス株式会社 愛知県名古屋市長区泉3丁目11番29号
(22) 出願日	平成3年(1991)12月25日	(72) 考案者	南出 竜司 三重県津市上浜町3丁目104の6
(65) 公開番号	実開平7-44208	(74) 代理人	弁理士 小島 清路
(43) 公開日	平成7年(1995)11月7日	審査官	鈴木 美知子
		(56) 参考文献	特開 昭63-303107 (J P , A) 特開 平3-255419 (J P , A)

(54) 【考案の名称】 時間、エンジン回転数及び速度を光で表示するヘルメット

1

(57) 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ヘルメット本体1と、該ヘルメット本体に取り付けられるバイザー部2と、該バイザー部に使用者が視認可能のように取り付けられる発光体ユニット3と、時間を計測するための時計のスタート用タッチセンサ4と、上記発光ダイオードユニットを動作させるための制御ボックス6と、上記発光ダイオードユニット及び上記制御ボックスを接続させる伸縮自在ケーブル5と、

上記発光体ユニット3は、時間の所定の設定値となった場合に光表示する第1発光体と、回転数の所定の設定値となった場合に光表示する第2発光体と、速度の所定の設定値となった場合に光表示する第3発光体とからなり、上記第1、第2及び第3発光体は、ヘルメット使用者に各々個別的に識別されて認識され、

2

上記制御ボックス6は、予め所定の時間、所定の回転数及び所定の速度が設定される設定部9と、速度信号及び回転数信号を入力する入力回路11と、所定の時間を入力する時計回路7と、上記入力回路及び上記時計回路から入力されるデータと上記設定部に設定された設定値とを比較演算する演算回路8と、該演算回路の結果を出力する出力回路12とを備え、

所定の上記各設定値に達した時に上記各発光体が光表示されることを特徴とする時間、エンジン回転数及び速度を光で表示するヘルメット。

【請求項2】 上記第1、第2及び第3発光体がヘルメット使用者に各々個別的に識別されて認識される手段は、該第1、第2及び第3発光体の発光色が各々異なる請求項1記載の、時間、エンジン回転数及び速度を光で表示するヘルメット。